

社会貢献債（ソーシャルボンド）への投資について

大阪商工信用金庫（理事長 多賀 隆一）では、令和3年12月7日（火）に東洋紡株式会社が発行する「第43回無担保社債（社債間限定同順位特約付、ソーシャルボンド）」（以下「本社債」）に投資したことをお知らせいたします。

ソーシャルボンドとは、国際資本市場協会（ICMA）が定めたソーシャルボンド原則に定義された、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG投資の対象となります。

本社債による調達資金は、東洋紡株式会社が定める適格プロジェクト（医用膜製造に係る費用、試薬製造に係る費用）への新規支出又はリファイナンスに充当されます。既存のプロジェクトに充当する場合は、ソーシャルボンドの発行日から遡って36ヶ月以内に行われた支出が対象となります。

当金庫は、地域社会の発展に貢献する理念のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同することを宣言しています。その取り組み方針のひとつとして、ファイナンスを通じて社会課題解決の自律的好循環を支える役割を担いたいと考えています。

今後もこうした取り組みを通して、地域金融機関として社会的使命を果たしてまいります。

〈本債券の概要〉

銘柄	第43回無担保社債（社債間限定同順位特約付、ソーシャルボンド）
発行額	100億円
発行日	令和3年12月7日

* 本事業の詳しい内容につきましては、下記までお問い合わせください。

以上

お問い合わせ
大阪商工信用金庫 CSR推進室 TEL 06-6267-2865